学校だより ６月号

令和６年６月３日発行

和歌山市立楠見東小学校

２か月が経ちました

学校長　塩谷　裕子

強まる日差しと初夏の風に汗ばむ季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただきありがとうございます。

気が付けば、一学期がスタートして２か月が経ち、１年生の子ども達も学校生活に慣れてきたようで、芽が出た朝顔に微笑みながら水をあげている姿や、掃除の時間、廊下のすみまでほうきではいている姿などをよく見かけます。子どもたちが、自信をもって取り組んでいる姿は、とても素敵です。

ご存知の方もたくさんいらっしゃると思いますが、「教室はまちがうところだ」という詩を紹介します。

「教室はまちがうところだ」　蒔田晋治（作）

きょうしつはまちがうところだ
みんながどしどし手を挙げて
まちがった意見を　言おうじゃないか
まちがった答えを　言おうじゃないか
まちがうことを　おそれちゃいけない
まちがうことを　わらっちゃいけない
まちがった意見も　まちがった答えも
ああじゃないか　こうじゃないかと
みんなで出し合い　言い合う中で
ほんとのものを見つけていくのだ
そうしてみんなで　伸びていくのだ
（中略）
神様でさえ　まちがう世の中
ましてこれからの人間に　なろうとしていくぼくらが
まちがってなにがおかしい　あたりまえじゃないか
（中略）
安心して　手をあげろ
安心して　まちがえや
まちがって　わらったり　ばかにしたり　おこったり
そんなもの　おりゃせん
まちがったって　だれかがよ
なおしてくれるし　教えてくれる
こまった時には　先生が　ない知恵しぼって教えるで
そんな教室　作ろうや（後略）

この詩のように、自分に自信をもって、何事も前向きに取り組んでほしいと思っています。